

【 診療科:呼吸器内科 】
 【 レジメン登録番号:IP-51 】

〈 Osimertinib+CBDCA+PEM療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	3	4	5	6	7	8		15		21		
タグリッソ	80mg/body 1日1回	p.o.	← 継続投与 →													
カルボプラチン	AUC:5	div	○													
ペメトレキセド	500mg/m ²	div	○													

【1コース期間: 21 日】 【総コース数:4コース※¹】

【適応癌種: 非小細胞肺癌(非扁平上皮癌)】

【時期: 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 6.6mg	div(30分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	ペメトレキセド 500mg/m ²	div(10分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	カルボプラチン (AUC:5) × (GFR+25)	div(60分で)
	5%ブドウ糖液 250mL	

【参考文献: N Engl J Med 2023;389:1935-48】

【備考①: ※1 4コース終了後、増悪なければペメトレキセド+タグリッソによる維持療法を行う。】

【備考②: 重篤な副作用の発現を軽減するため、葉酸及びビタミンB12を投与すること。

※葉酸: 本剤初回投与の7日以上前から、葉酸として1日1回0.5mgを連日経口投与する。

なお、本剤の投与を中止または終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。

※ビタミンB12: 本剤初回投与の少なくとも7日前に、ビタミンB12として1回1mgを筋肉内投与する。

その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週毎(3コースごと)に1回投与する。】

【備考③: 1-4コース目day1-3にはアプレピタントを併用することを推奨する。】

【変法情報: 】